

もの忘れ・認知症に関する相談、交流、居場所

おれんじドア ここから

ご本人、ご家族、ご友人も一緒にどうぞ！
このドアの向こうに幸せが広がっていきますように！



ここではこんなことができます

- * 同じ立場の方との語り合いや、診断前、直後の不安、戸惑いをお話していただくことができます。
- * 本当に今、必要なこと、したいことは何かを共に考えます。
- * 家族、ご友人も一緒にお越しいただけます。

若年(65歳未満)～高齢期の認知症についてご本人、ご家族のお越しをお待ちしています。みんなにとっての一番の幸せについて一緒に考えましょう。

* 毎月第1金曜日 10時～12時

※8月、1月はお休みです

※この日程以外でも個別におしゃべり、相談もできます。調整いたしますのでご連絡ください。

* 場所；ing ハウスここから

安城市朝日町 14-11 (090-1826-7289 松岡)

JR 安城駅から東へ徒歩5分

* 対象；確定診断はなくてももの忘れなど不安を感じている方もご参加いただけます。

* 参加費；300円

* 申し込み/問い合わせ；特定非営利活動法人 ing

(あんじょう認知症思いやり企業)

090-1826-7289/npo_ing@yahoo.co.jp

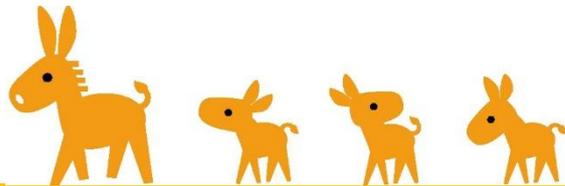
HPからも申し込めます。



認知症サポーターキャラバン



おれんじドアとは



仙台市に住む丹野智文さんは、2013年、39歳の時に若年性認知症の診断を受け、現在は企業で働きながら、当事者の支援や認知症の啓発活動を行っています。

2015年には認知症と診断されて不安の中にいる人が、先に不安を乗り越えた人と語り合い、元気になるようにと、『おれんじドア』をスタートさせ、いまや全国にこの活動が広まっています。名称の「ドア」には、認知症の人が、前を向いて新しい一歩を踏み出すための場にしたいという思いが込められています。

『ingハウスここから』はみんなのセカンドハウス！

特定非営利活動法人ing（1993年～）では、これまで生涯学習として生老病死をテーマとした講座やボランティア養成を開催する中で「認知症」「若年性認知症」「認知症介護」について繰り返し学習の機会を作っていました。2014年に安城市街地に開いた活動拠点『ingハウスここから』では「通いの場」として認知症カフェ『元気カフェ』を開催、また生活支援『お出かけ見守り隊』として直接認知症のご本人のお出かけのご支援、またご本人、ご家族、事業関係者の交流ができる場として『認知症を語ろう会』『たんぽぽカフェ（若年性認知症本人家族の会）』に取り組んでまいりました。その流れの中で認知症ご本人との出会いに後押しされ2025年より認知症ご本人のできることを、したいことを中心とした『おれんじドアここから』を開催することとなりました。「ここから」元気と笑顔の時間が広がっていくことを願いつつ、日常を支える居場所づくりをしてまいります。



アクセス:

JR安城駅
南口より
徒歩2分

つくし訪問
看護ステーションさん
隣



高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業（厚生労働省推奨・安城市補助金事業）

後援：安城市／安城市社会福祉協議会

協力：安城市各地域包括支援センター